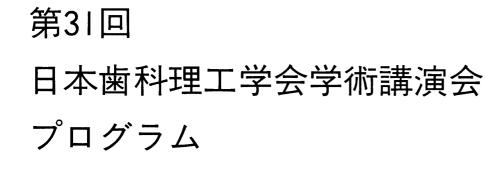
平成10年度春期(横浜)



と き:平成10年4月18日(土), 19日(日)

ところ:鶴見大学会館

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町3-18

Phone 045-574-8621

4月18日(土) 9:15~11:00 口頭発表(A, B, C会場) 10:00~15:00 ポスター発表(D, E, F会場) 討論(11:00~12:00)
11:00~13:00 ビデオ放映(A会場,センタープラザ) 12:00~13:00 支部評議員会(鶴見大学3号館2階)
13:15~14:15 総 会(A会場)
14:30~15:30 特別講演(A会場)
15:45~17:15 口頭発表(A, B, C会場)
17:30~19:30 懇親会(鶴見大学3号館|階,大学食堂)
4月19日(日) 9:15~11:00 口頭発表(A, B, C会場)
10:00~15:00 ポスター発表(D, E, F会場)
討論(11:00~12:00)
11:00~13:00 ビデオ放映(A会場,センタープラザ)

- 12:00~13:00 教育検討委員会
- 13:15~15:45 シンポジウム(A会場)

担 当 校	鶴見大学歯学部歯科理工学講座
	〒230-0063 横浜市鶴見区鶴見2-1-3
	Phone 045-581-1001 ext. 3367
	Fax 045-573-9599
	大会長平澤忠
	準備委員長 平野 進

日本歯科理工学会

●日程表

第1日目 4月18日(土)

受付開始8時30分

会場時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D・E・F 会 場	センタープラザ
9:10 9:15	会長挨拶	副会長挨拶	大会長挨拶		
10:00	A1—4(歯質接着 I) A5—7(歯質接着 II)	B1―4(アパタイトI) B5―7(陶材・埋没材I)	C15(腐食I) C6,7(切削・研磨)	ポスター発表 (討論11:00~12:00)	商品展示 ドリンクコーナー
11:00 12:00	ビデオ放送			D会場 P15(CAD/CAM, 計測I) P68(埋没材II) P911(セラミックス)	ビデオ放送
12:00	ビデオ放送	支部評議員会(鶴見	大学3号館,2階)	E 会場 P12—15(義歯床) P16,17(レジンの重合特性)	ビデオ放映
13:00 13:15		1		P18,19(裏装材) P20—24(印象材)	
	総 会			F会場	
14:15 14:30				P25—27(コンポジット) P28, 29(シラン処理剤)	
15:00	特別講演			P30—34(セメントI)	商品展示
15:30					ドリンクコーナー
15:45	A8―13(チタン・ チタン合金 I)	B8―13(レジン)	C8—10(アパタイトII) C11—12(金属接着 I)		
17:00 17:15					
17:30					
		懇親会	* (鶴見大学 3 号館,大	(学食堂)	
19:30					

第2日目 4月19日(日)

受付開始8時30分

会場 時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D・E・F 会 場	センタープラザ
9:15 10:00 10:30	A14—16(歯質接着Ⅲ) A17—20(セメントⅡ・ その他)	B14—17(生体反応 I, 貴金属合金) B18—20(生体反応 II)	C13—15(CAD/CAM,計測II) C16, 17(矯正ワイヤー)	ポスター発表 (討論11:00~12:00) D会場	商品展示 ドリンクコーナー
11:00 12:00	ビデオ放送			P 35-38(チタン・ チタン合金) P 39-41(金属一般) P 42-45(金属接着 II)	ビデオ放送
13:00	ビデオ放送			E会場 P46—56(歯質接着Ⅳ)	ビデオ放送
15 : 00 13 : 15 15 : 00 15 : 45 16 : 00	シンポジウム (ISO/TC106) 会長挨拶			F 会場 P 57, 58(腐食II) P 59(摩耗) P 60(研削) P 61(溶接) P 62—66(生体反応III)	商品展示 ドリンクコーナー

$$-2-$$

•

■ 口頭発表について

発表スライドはスライド総合受付内の試写室にて発表者自身でカルーセルに入れて,試 写してからスライド受付に提出してください.プロジェクターは1台しか使用できませ ん.スライドにはなるべく大きな文字で,発表内容が分かるように簡潔に,しかも要領 よくまとめるように心がけて下さい.

発表後,発表者自身で試写室にてスライドをカルーセルから取り出し,カルーセルを返 却して下さい。その時に抄録の原稿を受け取って下さい。

発表時間は12分間,討論は3分間です。発表時間は超過しないよう特に注意して下さい。

討論その他は座長の指示に従って下さい.

■ ポスター発表について

発表当日,所定の会場責任者に発表者用のリボンを講演抄録原稿と共に受取って下さい. ポスターは当日10時までに貼付し,討論時間中発表者はボードの前で待機して下さい. ポスター発表用のボードは縦180 cm,横120 cm です.発表番号札(縦10 cm×横15 cm)は左上隅に貼付してあります.

発表者の顔写真(手札程度)を発表番号の下に貼って下さい。

■ 懇親会について

日時:4月18日(土)17:30-19:30 会場:鶴見大学3号館 1階 大学食堂 ブッフェ形式 会費:5,000円

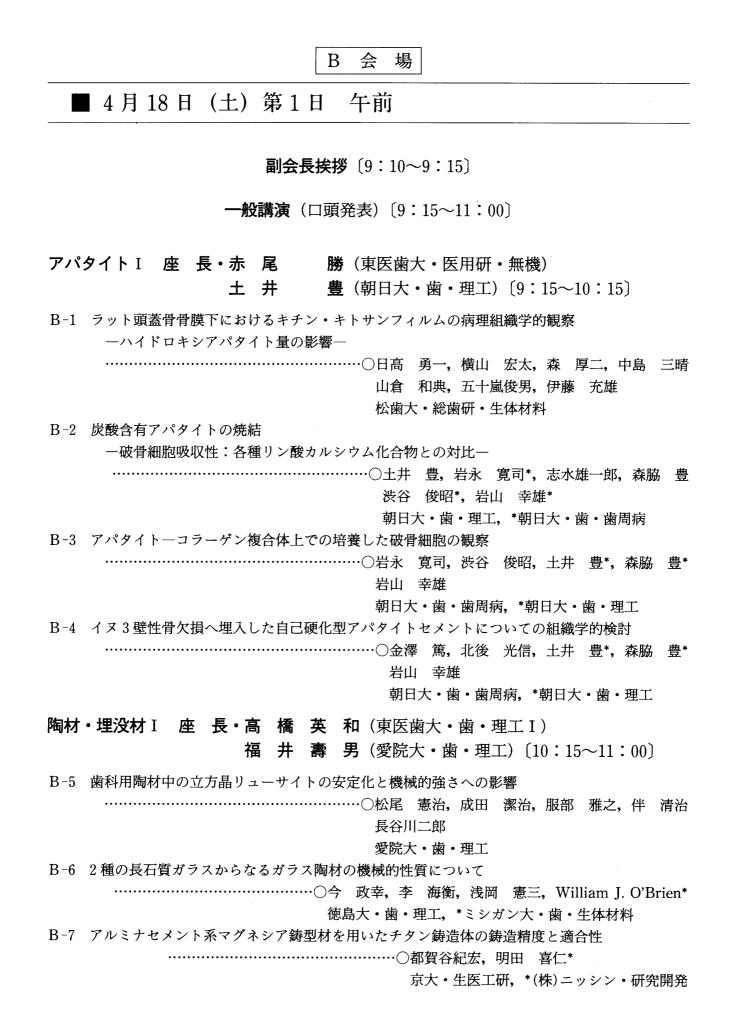
■ 講演集の申込について

振替用紙(差し込み)にて¥3,000を申込期限の3月16日(月)迄に払い込み下さい。 事前に送付いたします。 なお会場においても頒布いたしますが,売り切れることがありますのでご了承下さい。 申込先:(財) 口腔保健協会内 日本歯科理工学会

> 東京都豊島区駒込 1-44-2 Phone 03-3947-8891 Fax 03-3947-8341

タイムテーブルのビデオ放映には新しい製品とその使用法についての解説を紹介いたします(プログラムの最終頁に放映タイトルを記載しています).

学会場への入場には参加章を付けて頂くことになっています。参加章は講演 集の中に綴じ込んでありますので、切り離してご使用下さい。



C-7 定荷重研磨装置の試作

С	会	場
\mathbf{U}		· //J

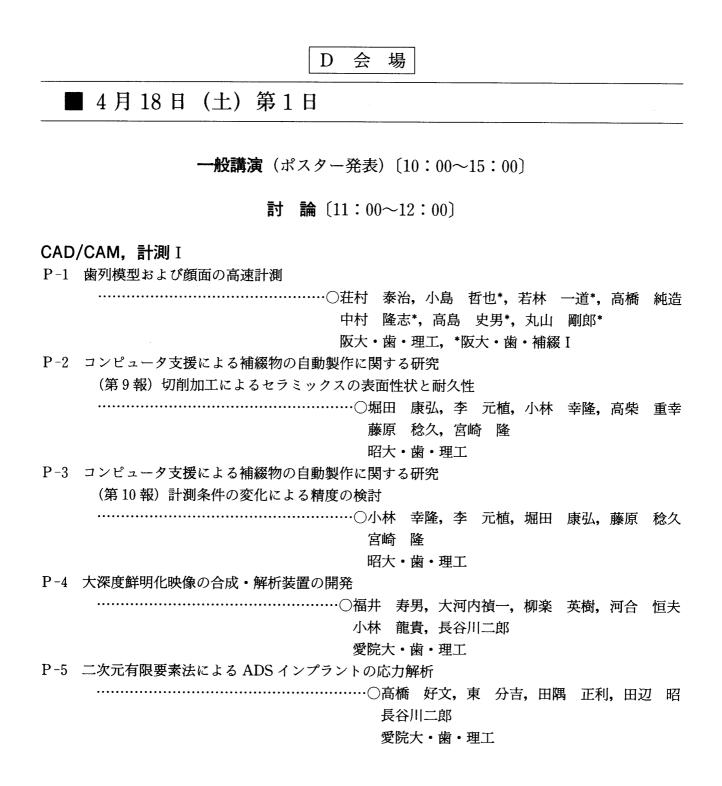
■ 4月18日(土)第1日 午前

大会長挨拶〔9:10~9:15〕

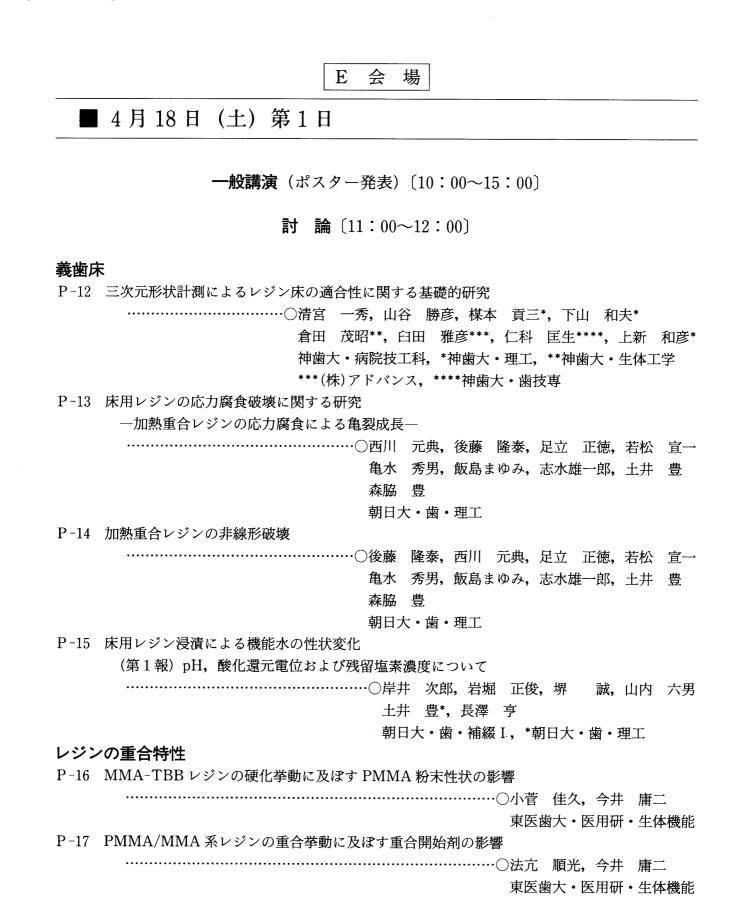
一般講演(口頭発表)〔9:15~11:00〕

座 長・遠 藤 一 彦(北医療大・歯・理工) 腐食I 宮川行男(日歯大・新潟・理工)〔9:15~10:30〕 C-1 歯科用銀合金のクエン酸塩,リン酸塩混合溶液中における電気化学的挙動 日大・歯・化学 C-2 歯科用アマルガムとチタンの接触腐食について (第1報) 一電気化学的挙動一 …………………………○高田 雄京,林 時徳*,飯島 一法,金 教漢** 奥野 攻 東北大・歯・理工,*大邱産業専門大・歯科技工 **慶北大·歯·材料 C-3 フッ素含有溶液中におけるチタンおよびチタン合金の腐食挙動 九大・歯・理工 C-4 成分・組成の異なる磁性アタッチメント用フェライト系ステンレス鋼の耐食性評価 川島功 北医療大・歯・理工 C-5 磁性アタッチメント用ステンレス鋼の電気化学的腐食挙動 平沼 謙二 愛院大・歯・補綴 I,*愛院大・歯・理工 切削・研磨 座 長・井 村 泰 治 (阪大・歯・理工) 玉 置 幸 道(昭大・歯・理工)〔10:30~11:00〕 C-6 低騒音および支台形成支援機能を備えた歯の切削システムに関する研究 (第3報) 一騒音低減化の対策と切削支援ジグによる支台歯形成一 ……………○荘村 泰治,河合 啓次*,小島 哲也**, 若林 一道** 廣垣 靖***, 高橋 純造, 生田 幸士****, 桝田晃司**** 阪大・歯・理工、*阪大・歯・保存、**阪大・歯・補綴Ⅰ, ***阪大・歯・矯正, ****名大・工・生体医療マイクロ工学

------〇山田 敏元,杉崎 順平 虎の門病院歯科



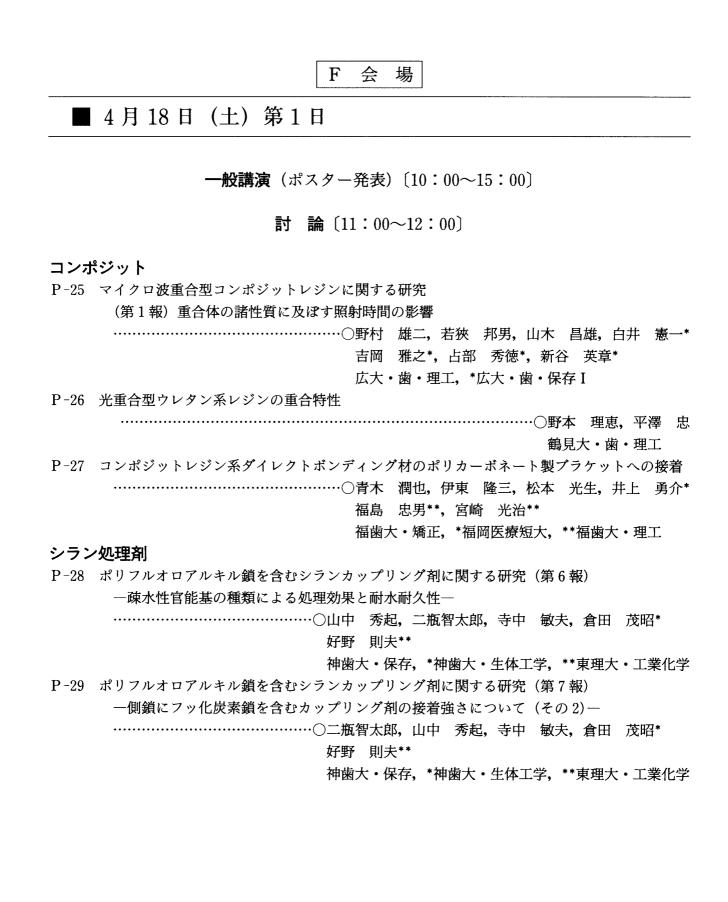
	D 会 場
■ 4月18日(土)第	;1日
埋没材II	
P-6 変色性鋳型材の試作	
	○鶴田 昌三,飯田 吉郎,可児 寿英,長谷川龍貴
	長谷川二郎
D 7 マッズ、母田戸次切けかけ	愛院大・歯・理工
P-7 アルゴン雰囲気溶解における	。Co-Cr 谷金と MgO の反応 ○金谷 貢, 大川 成剛, 渡辺 孝一, 中野 周二
	宮川 修, 堀田 憲康*, 小林 正義**
	新大・歯・理工、*新大・工・化学システム工学
	**新大・EMX 室
P-8 新しい急速加熱型石膏系埋約	
	東医歯大・歯・理工Ⅰ
セラミックス	
P-9 歯科材料の熱的性質に関する	
	ミックスとハイブリッドセラミックスの熱伝導率―
	○齊藤 仁弘,金子 和幸*,林 純子*,宮崎紀代美
	西山 實,茂呂 祐康**,桟 淑行**,五十嵐孝義** 日大・歯・理工,*日大・歯・技専,**日大・歯・補綴Ⅲ
P-10 Thermal Properties of Leu	
—Influence of leucite cor	
	〇HH. Lee, 浅岡 憲三
	徳島大・歯・理工
P-11 分極誘起アパタイトセラミッ	ックスおよびコーティング膜の構造と性質
	○大柿 真毅,小宮 崇義*,濱上 寿一*,梅垣 高士*
	中村 聡,山下 仁大
	東医歯大・医用研・無機,*都立大院・工・工業化学



-7-

	E 会 場	
	4月18日(土)第1日	
裏装材	<i>t</i>	
P-18	化学重合型直接リライニング材からの溶出モノマーの分析	
	○川口 稔,高橋 裕*,宮崎 光治,羽生 哲t	也'
	福歯大・理工,*福歯大・補綴Ⅰ	
P-19	暫間軟質義歯裏装材の組成とゲル化中の動的粘弾性について	
	○村田比呂司,ロザリナ カタリナ ハベルハム,浜田 泰	ŧΞ
	田口則宏,土岐一仁	
	広大・歯・補綴II	
印象材	-	
P-20	ゴム質印象の薬液消毒が模型の再現性に及ぼす影響	
	一次亜塩素酸ナトリウム溶液中浸漬一	
	······○平口 久子,中川 久美,土生 博	潯
D 04	日大・歯・総合歯研	
P-21	トレーの印象保持に関する研究	
	ー有孔トレー保持孔の直径および間隔がアルジネート印象材に対する保持力に ひぼす影響	
	及ぼす影響− 〇内田 博文,土生 博	Ì₹
	日大・歯・総合歯研	۴Ð
P-22	石こう模型の表面精度に関する研究	
1 22	一印象材と模型用石こうとの適合性一	
	沈 凌, 吉橋 和江, 西山 實	
	日大・歯・理工	
P-23	硬化遅延剤溶液で練和した石こうとハイドロコロイド印象との適合性	
	〇土生 博義,内田 博	大 に
	日大・歯・総合歯研	
P-24	練和法を変えることによって生じるアルジネート印象材のレオロジー的性質の変化	
		٤J
	藤井 孝一,岡田 光男*	
	鹿大・歯・理工,*三金工業(株)	

. — 8 —



	F 会 場
	4月18日(土)第1日
セメン	۲I
P-30	グラスアイオノマーセメントの接着疲労耐久性(3)
	······〇岡田 英俊,菊井 徹哉,島野偉礎轄,加藤 謙一 泉 俊郎,長山 克也
	奥羽大・歯・理工
P-31	レジン添加型グラスアイオノマーセメントにおけるレジン成分の影響
	一組成と重合挙動について一
	······················○池田 訓子,藤島 昭宏*,鈴木 正子**,宮崎 隆*
	佐々 竜二
	昭大・歯・小児,*昭大・歯・理工,**昭大・教養・物質科学
P-32 ₿	新しい合着用グラスアイオノマーセメントの諸性質
	第3報 歯科用合金に対するぬれ性について
	明海大・歯・材料
P-33	有機酸一アパタイトを基材とする歯科用セメント
	(第二報)硬化体の物理化学的性質
	○志水雄一郎,土井 豊,足立 正徳,若松 宣一
	亀水 秀男,後藤 隆泰,西川 元典,森脇 豊
	朝日大・歯・理工
P-34	合着材料のシーリング効果について

А	会	場

■ 4月18日(土)第1日 午後

総 会 〔13:15~14:15〕

特別講演〔14:30~15:30〕

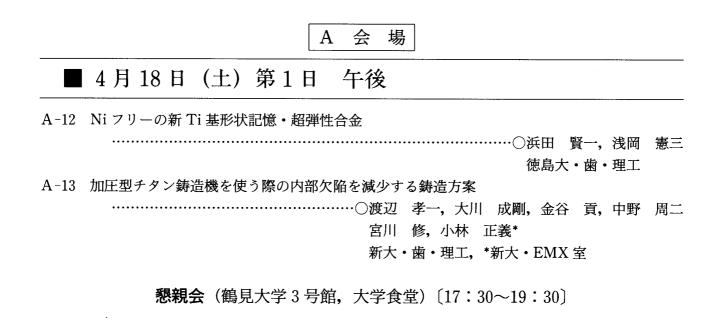
「新世代夜光材料の開発」

根本特殊化学(株)取締役会長 村山 義彦

座 長 平澤 忠 (鶴見大・歯・理工)

一般講演(口頭発表)〔15:45~17:15〕

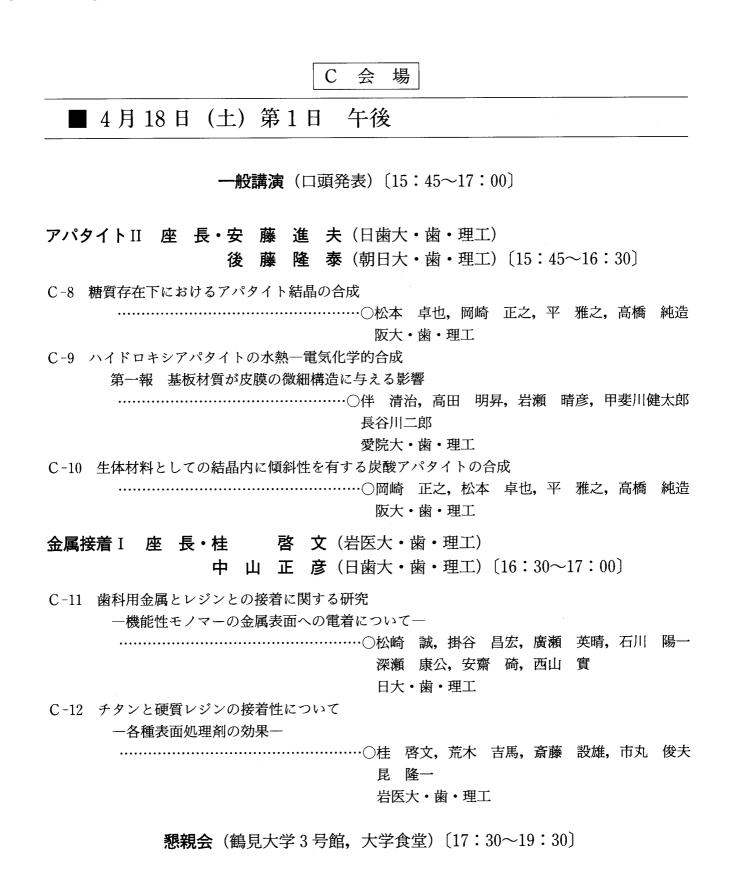
チタン・チタン合金 I 座・長 柿 川 宏(九歯大・理工)
 河 田 英 司(東歯大・理工)
 渡 辺 孝 一(新大・歯・理工)〔15:45~17:15〕



B 会 場
■ 4月18日(土)第1日 午後
一般講演 (口頭発表)〔15:45~17:15〕
レジン 座 長・安 齋 碕(日大・歯・理工)
門 磨 義 則 (東医歯大・医用研・生体機能)
本 郷 敏 雄 (東医歯大・歯・理工)〔15:45~17:15〕
B-8 歯科材料の光毒性 一光重合型コンポジットレジンについてー ○今井 弘一, H. Spielmann*, M. Liebsch*, 赤木 誉 増田 景久, 中村 正明 大歯大・理工, *ドイツ連邦厚生省 BgVV・ZEBET B-9 フィッシャーシーラントからの溶出物の同定
B-11 ガスインジェクションによる義歯床製作法の検討
·······〇関 文久,中林 宣男
東医歯大・医用研・有機
B-12 アクリル系床用レジンの粉剤成分が破壊靱性に及ぼす影響
亘理 文夫 北大・歯・理工 北大・歯・理工 ホーム ホ
B−13 竹エキスの抗菌性に関する研究
(第3報) 義歯床用レジンへの応用
·····································

阪大・歯・理工

懇親会(鶴見大学3号館,大学食堂)〔17:30~19:30〕



-14-

■ 4月19日(日)第2日 午前

```
一般講演(口頭発表)〔9:15~11:00〕
```

歯質接着III 座 長・片 倉 直 至(東北大・歯・理工) **廣 瀬 英 晴**(日大・歯・理工)〔9:15~10:00〕

A-14 レーザーラマン分光分析による樹脂含浸層の解析

------○橋本 正則,大野 弘機*,遠藤 一彦*,荒木 吉馬**

加我 正行,小口 春久

北大・歯・小児,*北医療大・歯・理工,**岩医大・歯・理工

A-15 光硬化型グラスアイオノマーセメントと象牙質接着界面構造のレーザーラマン分光法による 解析

> ······〇原口 克博,大野 弘機*,遠藤 一彦*,橋本 正則** 松田 浩一

> > 北医療大・歯・保存II,*北医療大・歯・理工

**北大・歯・小児

- セメントII・その他 座 長・楳 本 貢 三 (神歯大・理工) 松 家 茂 樹 (九大・歯・理工) [10:00~11:00]

松田 浩一,大野 弘機**

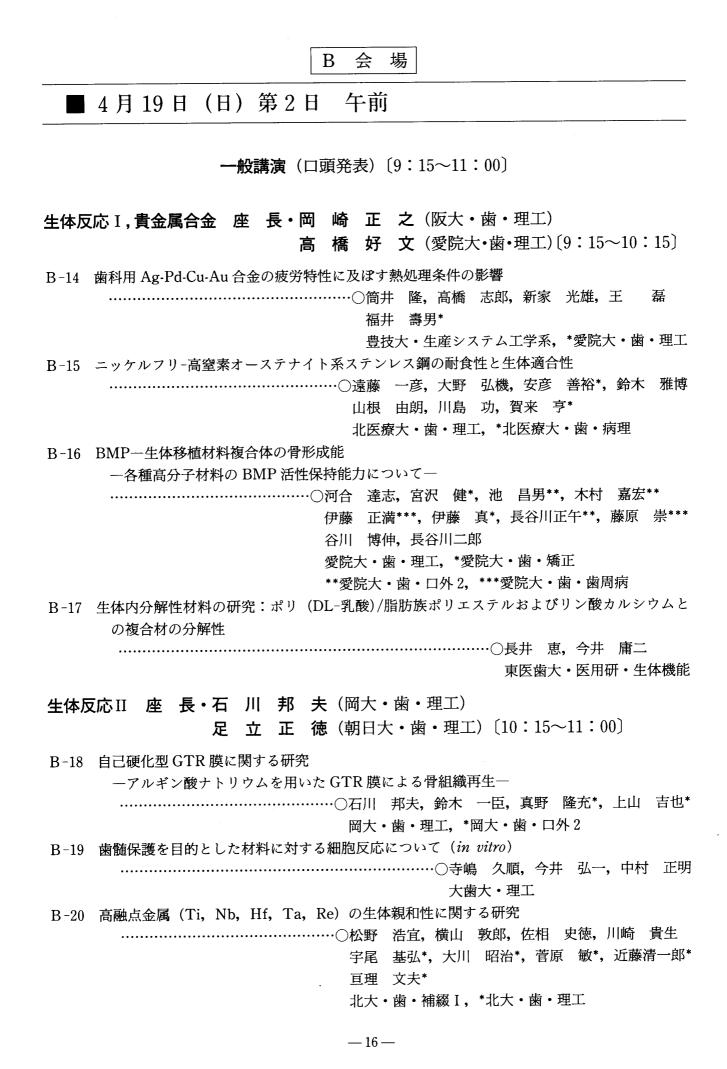
北医療大・歯・保存II,*岩医大・歯・理工

**北医療大・歯・理工

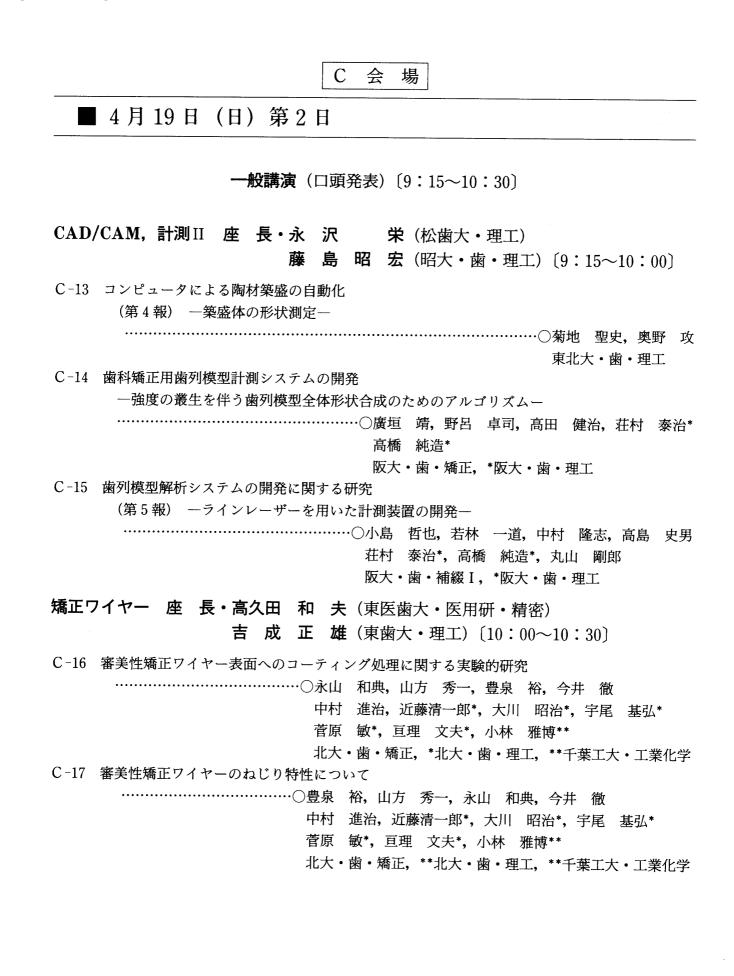
九大・歯・理工

······〇猪越 重久,大槻 昌幸,吉川 孝子,高田 恒彦 田上 順次

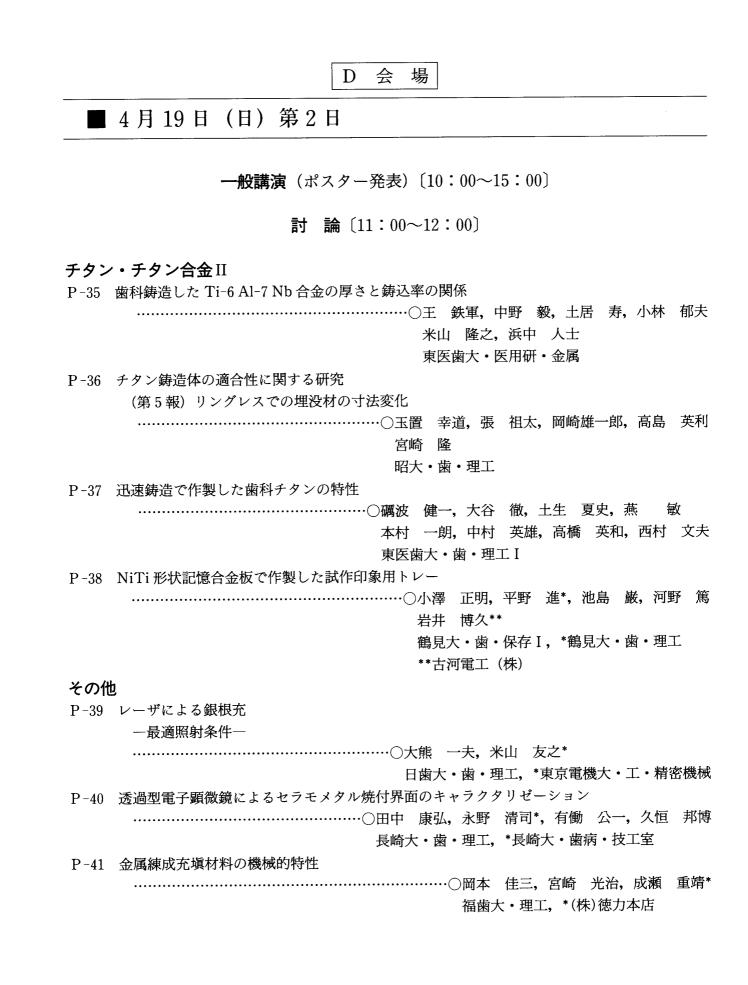
東医歯大・歯・保存I



NII-Electronic Library Service



-17-

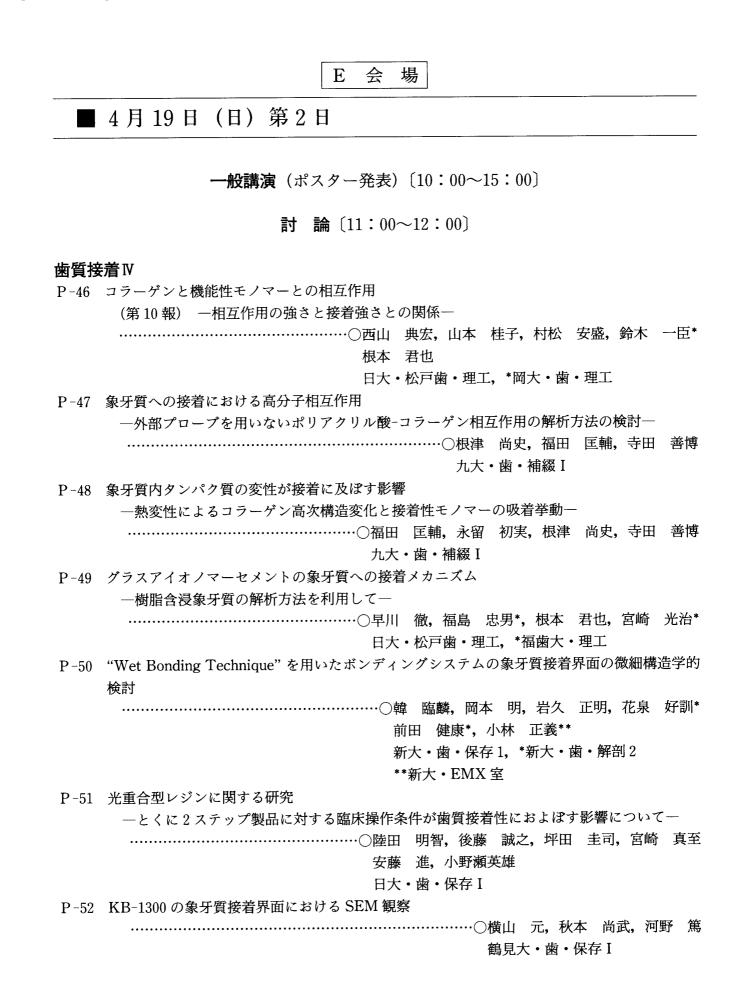


D 会 場
■ 4月19日(日)第2日
金属接着 II P-42 シリコン化合物を添加したアクリルレジンの物性と金属,ガラスへの接着性 〇蟹江 隆人,増田 章久,今泉 章,有川 裕之
藤井 孝一,井上勝一郎 鹿大・歯・理工
P-43 チイラン系モノマーを用いた貴金属合金に対する接着システムの耐水安定性 ○門磨 義則,小島 克則 東医歯大・医用研・生体機能
P-44 ジチオラン系モノマーで表面処理した貴金属および貴金属合金に対する接着における MMA- PMMA 系レジンの重合開始剤の影響
P-45 表面増感ラマン散乱分光法を用いた貴金属接着性モノマーの吸着構造の研究 ○鈴木 正子,藤島 昭宏*,宮崎 隆*,久光 久** 小島 克則***,門磨 義則*** 昭大・教養,*昭大・歯・理工,**昭大・歯・保存Ⅱ

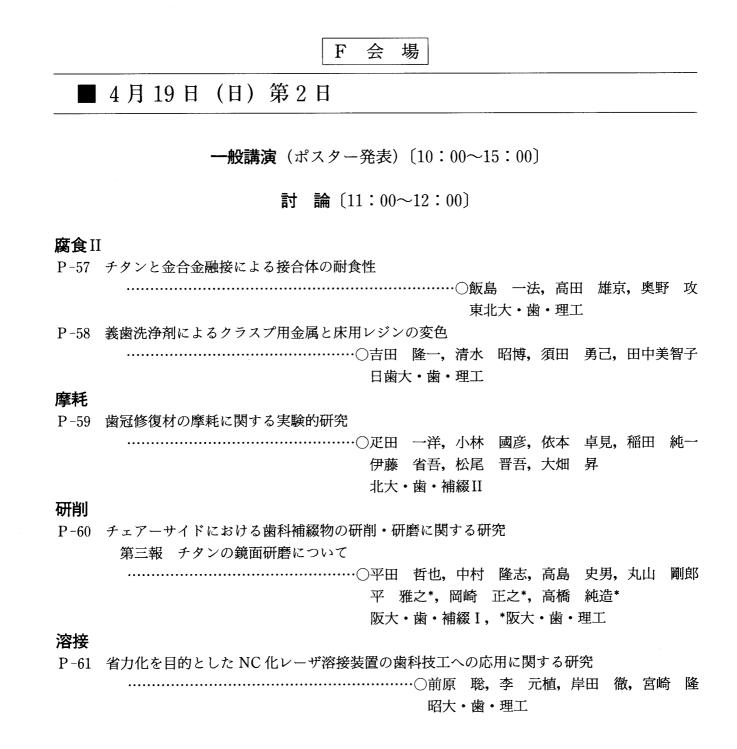
----1

***東医歯大・医用研・生体機能

m

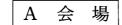


	E 会 場
	4月19日(日)第2日
P-53	最近の各種レジンボンディングシステムの歯質接着性
	·······〇平林 茂, 平澤 忠
	鶴見大・歯・理工
P-54	水溶性光重合開始剤を配合したセルフエッチングプライマーの開発 その4
	日大・松戸歯・理工
P -55	試作弾性接着性レジン
	その 2 歯科用合金ならびに歯質への接着特性について
	○吉本 彰夫,山下 敦,近藤 康弘*,鈴木 一臣**
	矢谷 博文
	岡大・歯・補綴Ⅰ,*近藤歯科医院,**岡大・歯・理工
P-56	象牙質被着面の仮着材除去方法と接着耐久性について
	〇渡辺和美エリゼッテ,山下 敦,矢谷 博文,石川 邦夫*
	鈴木 一臣*
	岡大・歯・補綴Ⅰ,*岡大・歯・理工



1

	F 会 場
	4月19日(日)第2日
生体质	反応III
P-62	リンゴ酸で溶解したキトサンゾルの中和材の濃度とキトサンフィルムの引張強さの関係
	五十嵐俊男,日高 勇一,伊藤 充雄
	松歯大・総歯研・生体材料
P-63	水溶性キトサンを用いた骨補塡材の生体組織反応
	―ラット皮下および大腿骨埋入試験―
	荒木 吉馬
	岩医大・歯・理工
P-64	α-TCP/OCP 硬化体の作製と機械的性質
	○中野由美子,中村 聡*,大柿 真毅*,赤尾 勝*
	山下 仁大*,高木 裕三
	東医歯大・歯・小児,*東医歯大・医用研・無機
P-65	歯科材料の生体適合性に関する研究
	(第1報)ポリアクリル酸の歯髄線維芽細胞の炎症性サイトカイン産生への影響
	○楳本 貢三,渡辺 清子*,倉田 茂昭**,梅本 俊夫*
	礒辺 俊明***
	神歯大・理工,*神歯大・口腔細菌
	神歯大・生体工学, *都立大・理・化学科生物化学
P-66	歯科用材料の生体適合性に関する研究
	(第2報)モノマーの官能基の違いによる細胞応答
	○倉田 茂昭,楳本 貢三*,川瀬 俊夫
	神歯大・生体工学,*神歯大・理工

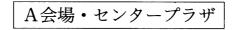


■ 4月19日(日)午後

シンポジウム 〔13:15~15:45〕

	[ISO/TC 106	国際規格の現状と	将来」	
モデレータ				
高橋 重雄(杉	、歯大・理工)			
シンポジスト				
1. ISO/TC 10	06の基礎知識			
日本雄	科材料器械研究協議会	r	勝木	紘一
2. SC1充填(俢復材料			
サンメ	「ディカル(株)		橋本	隆
3. SC 2 補綴	才料(金属材料)			
(株)	モリタ		加藤	勇
4. SC 2 補綴	オ料(レジン,セラミッ	ックス)		
日本雄	南科材料工業協同組合		窪田	隆夫
5. SC 3 歯科/	用語			
日本雄	科医師会		野口ノ	八九重
6. SC4歯科/	用器具			
(株);	松風		井上	秀
7. SC 5 歯科/	用器械			
(株)	モリタ製作所		藤原	久男
8. SC7口腔(衛生用品			
(財)	ライオン歯科衛生研究病	所	武者	良憲
9. SC 8イン:	プラント			
愛院大	、・歯・理 工		河合	達志

閉会の辞 (会長)



■ 4月18日 (土), 19日 (日) [11:00~13:00]

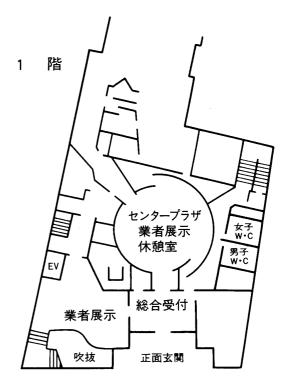
ビデオ放映タイトル

・レジンスプリントの製作(株) ジーシ DIC
・チタン対応遠心加圧吸引鋳造機 ヴァルカン-T(株) 松風 学術一課
・新しい歯冠修復材料ハイブリッドセラミックス「エステニア」特徴と使用法(株) クラレ
・歯科用 CAD/CAM システムセレック II を使用した審美修復(株) モリタ
・歯科臨床を革新する(超接着)サンメディカル(株)
・新世代歯冠修復材料/アートグラスパナヘラウスデンタル(株)

学会会場案内図

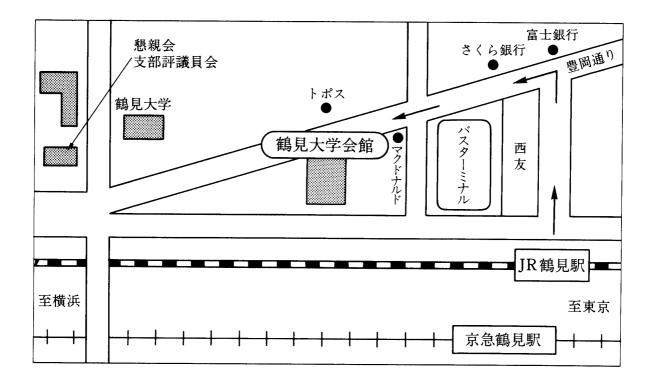






鶴見大学会館内は禁煙となっていますので, 喫煙は休憩室でお願いします. 御協力下さい.

● 交通機関



交通:JR 東京駅より京浜東北線で約30分 JR 横浜駅より京浜東北線で約10分 JR 京浜東北線 鶴見駅西口下車 徒歩3分 京浜急行線 京急鶴見駅下車 徒歩5分

年頭のご挨拶

日本歯科理工学会

会長 谷 嘉明

明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお揃いで新しい年をお迎えのことと存じます。学会 役員並びに会員各位には、学会の活性化と円滑な運営のために種々ご協力いただき誠に有難うございま す。

昨年には、大型の金融破綻が連続し、幼児の殺人事件などが続発した暗い一年でした。われわれの学会 では、理事・常任理事を歴任され、永年にわたり本学会のために尽くされた長崎大学安田克廣教授が2月 に亡くなられるという悲しいことを忘れることができません、亡くなられる前まで、点滴をぶら下げて講 義の教壇に立たれるなど、ガンとの壮絶な闘いと教育者としての熾烈な生きざまにはいたく心を打たれま した。健康なわれわれはもっと一生懸命に生きねばならないことを教えられた一年でした。

さて、昨年11月4日~8日にハワイ、ホノルル市で開催いたしました第3回国際歯科材料学会会議は 大成功を収め、きわめて盛会裡に終了することができました。今回の会場は大変すばらしく、出席者の皆 さんは大いにエンジョイしていただけたと思っております。ご参加下さった会員の皆様に改めて厚く御礼 申し上げます。この ADM との共催学会がどれだけ若い会員達を勇気づけてきたか分かりません。今では 恒例の行事となった感があります。早くから企画・立案に参画いただきました準備委員会委員各位に深甚 なる謝意を表します、併せて、学会当日の運営に御協力いただいた実行委員の皆さんにも心より御礼申し 上げます。また今回も会議運営に直接携わって下さった ADM 側の組織委員長岡部 徹教授、会場準備委 員長 Vickie Marker 助教授、トランスアクションズ編集委員長中島 裕教授そのほか、ベイラー歯科大 学生体材料学教室の皆さんに厚く御礼申し上げます。なお、ADM 会長の Ferracane 教授から礼状が送ら れてきましたので次頁に掲載いたします。

本年度の学術講演会は,春季大会は平澤 忠理事の担当により鶴見大学でまた秋季大会は宮川 修理事 の担当により新潟市で開催されます。多数の研究発表と活発な討論を期待しております。

3つの学会誌,「歯科材料・器械」,「Dental Materials Journal」,「DE」もそれぞれ充実したものにする べく努力して参ります。そして,広く国民の健康に貢献する学会を目指して頑張りたいと存じます。会員 の皆様の変わらぬご協力を心からお願いして年頭のご挨拶とさせていただきます。



ACADEMY OF DENTAL MATERIALS

Jack L. Ferracane, PhD, FADM President, ADM Oregon Health Sciences University 611 S.W. Campus Drive Portland, Oregon, USA, 97201 ph: 503-494-4327 fax: 503-494-8260 e-mail: ferracan@ohsu.edu

November 24, 1997

Dr. Yoshiaki Tani Research Center for Biomedical Engineering Kyoto University 53 Kawahara-cho, Shogoin, Sakyo-ku Kyoto 606, JAPAN

Dear Dr. Tani:

On behalf of the Academy of Dental Materials, I would like to extend my sincerest appreciation to you for your outstanding efforts in organizing and chairing the 1997 Annual Meeting in Honolulu. I am well aware of the many duties involved and the problems that arise in this type of endeavor. I would say that I am impressed by how well you handled it, but you have done it so well so many times that we are all used to such an impressive show.

I believe that the meeting was a great success scientifically, and perhaps even financially. You helped to choose excellent speakers and they all did a great job. The discussion was lively and interesting. I am confident that the meeting will help us to recruit new ADM members and enhance the level of participation at future meetings.

Once again, thank you for all of your efforts.

Sincerely,

Jack L. Ferracane, PhD Professor and Chair